

平成27年3月定例教育委員会 会議録

1 開催期日 平成27年3月18日(水)

開会 午後 2時00分

閉会 午後 3時30分

2 開催場所 役場 2階 会議室

3 出席者名 委員長 諸 橋 志津子

委 員 不二井 悟 史

委 員 宮 下 静 子

委 員 原 田 光 雄

委 員 (教育長) 布 施 東 雄

局 長 岡 本 伊佐夫

次 長 宮 本 浩 司

次 長 荒 木 秀 人

係 長 朝 倉 恵 子

4 議 件

報告第2号 平成26年度教育費の補正について

報告第3号 平成27年度教育費について

報告第4号 平成26年度穴水町教育委員会活動報告について

協議第5号 区域外就学について

協議第6号 平成27年度穴水町立小・中学校の入学式について

5 議事の経過について

事務局の進行により、前会議録の承認を得た後、教育長から、3月議会についての報告、ミスズライフより小学校に図書費寄贈についての報告、小学校の6年生を送る会の中から英語教育についての報告があり、会議録署名員に原田委員及び布施教育長を指名し、承認されました。

審議に入り、報告第2号から報告第4号及び協議第5号、協議第6号について説明があり、質疑応答が行われ、承認及び決定されました。

次に、4月の定例教育委員会の開催期日を4月24日(金)午前10時と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

3月 定例教育委員会議事録

－ 委員長挨拶 －

午前中は穴水小学校の卒業式にご参列を、ありがとうございました。昨日は穴水中学校の卒業式で、2校が終わったのですが、いずれの学校も4月からの児童生徒への教育の総括の姿が見られるような卒業式が行われたかと思えます。

終業式では、在校生の今年の総括が行われるわけですが、今日のニュースで、高校生が英語教育についてどう思うかというアンケートの中で、6割が嫌いだということに記入したということです。その嫌いの中でも、聴く・話すその部分が嫌いだとアンケート結果が出てきたということがありました。今、グローバル時代で、小学校3年生から正規の授業になろうという時に、高校生の実態は嫌いと言っていて、学校の中で指導者が好きだからできるのではなく、「できる」の部分を子ども達に十分投与してあげる必要があるのではないかと、今日のニュースを聞いて思いました。本町でも英語教育支援員が2名いましたが、そのような支援をして児童生徒に力をつけるようにしてもらいたいと思います。

－ 教育長報告 －

3月議会がありました。補正予算及び平成27年度の予算が主な議案でした。

この間に、ミスズライフより穴水町の小学校に対して図書費として10万円を寄贈していただきました。毎年この金額を続けて寄贈して下さるといことなので、両学校にミスズライフ文庫を設置し、図書を充実させていき、表現力や知識力を増やす図書が充実していくのではないかと考えています。会社は全国で会社がある近隣の市町村の小学校に同様の寄付をしているということでした。

今月は卒業式の前に両小学校で「6年生を送る会」がとても寒い時期に行われました。新聞等でも話題になっていましたが、向洋小学校の1年生が英語で「大きなかぶ」の劇を行い、大変面白く話題になっていました。先ほど英語教育のお話もありましたが、1年生が英語による劇を、あそこまでしたことは良かったと思います。本日の卒業式の穴小の控室でも、町長が今朝の英語の新聞記事を見られて、英語教育支援員は2人でいいのか、という言葉いただきましたが、学校は3校ですし、正式に小学校の低学年まで英語が入ってくるのは5年後ですので、今のところ2人で結構です、と話をしました。町長がそういうところに関心を示しているということがわかり嬉しかったです。成績で見ると、聞くことや話すことが苦手だということは、この前皆さんにお配りした下村文部科学大臣の学力のシステムの変更と直結します。読み書きばかり入れていて、聞くことや話すことを教えていなかった。それはなぜかという、下村大臣は、結局大学入試対策しかしていないというのが問題ではないかということに繋がっていると話しておられます。そういう関係もあって石川県は早い時期から対応していますし、文部科学省も新年度から全国の小学校の教員600人を集めて5日間程かけて英語の研修会を開くということになり、石川県からは4名程派遣されるということです。今後も続いていくのかと思っています。

人間が言葉を発するのは、親が話すのを聞いて喋る、そして言葉を喋ることから始まって、後、書いたり読んだりして教育が始まるのですが、読み書きばかりして、人の意見を聞いて自分の意見をまとめて発表するという訓練が出来ていないのが、英語で出てきたのではないかと思います。そういうことをふまえて県の学校研修の学力向上対策の研究で、いわゆるアクティブ・ラーニングの、研究指定校を来年度から指定して各市町で1校ずつやりなさい、ということです。穴水町では、穴水中学校を研究校として、2つの小学校と連携して行うのですが、初年度は研究発表まで求めないけれど、小中連携してお互い学びあう学びや、グループ活動や、意見発表をするなど、いろいろな教科で取り入れてやるように、ということが始まります。おそ

らく前回の学習指導要領の改訂にも2年～3年前から研究して本番に入った経緯がありますが、今回も2020年から新指導要領が改定されるのに合わせて、2～3年後には頻繁に中身も濃くなっていくことが予想されます。

諸橋委員長 それ現場にくると現場の教員が全部受け皿になるのですね。ですが、教員を育てる教育で資質ある教員を育てないと一般採用になってからでは教員は現場に降りてからでは遅いです。

教 育 長 遅いです。

諸橋委員長 大学を受験するにしても、高校の時からそのような教育があって大学を受験するのですが、高校教育からそのところをしてもらわなければ、現場に入ってから研修や研究といってもとても遅いと思います。

教 育 長 現場を知らないとわからない面があります。
通知の文面の中には、全国から集まる先生方は、英検で準2級以上です。

諸橋委員長 そうです。

教 育 長 準2級の力のある方が望ましいと言っています。

諸橋委員長 英文科を出ていれば持っているでしょうか。
だんだんと教員離れが出てくるのではないかと思います。それで自治体はどうしていかなければいけないかという、支援員を準備してくるのです。

教 育 長 英語ばかりではないのですが。英語さえできれば何でもできるので外国へ行っても大丈夫という事はないです。そういう世界に放り込まれると人は自然に英語が身につくし、話もできることになるのです。やむを得ずそういうことになるのでそうなるのです。何でも挑戦する人、企画力、創造力が豊かな人を育てなければならない。

— 議事 —

事 務 局 長 報告第2号から報告第4号及び協議第5号、協議第6号について説明

諸橋委員長 報告第3号について
支援員の契約については、全員が同じ契約のやり方なのですか。

荒 木 次 長 特別支援教育支援員は、1日6時間、日給5,400円。英語教育支援員は、1日4時間、時給1,250円。ICT支援員は特別教育支援員と同じです。

諸橋委員長 実績等は、事務局に報告がくるのですか。

荒 木 次 長 支援員すべて、学校長印を押して提出されます。

諸橋委員長 成人式は、今は考えないで流れのままにいくのですか。

事務局長 選挙権が20歳から18歳に下がると聞いていますが、今のところは20歳で成人式を実施しようと思っています。しかし今後は近隣を見ながら考えていきたいと思っています。

諸橋委員長 少年法との関わりもあります。

事務局長 選挙権の問題もあります。

諸橋委員長 そうですね。そんなに遠い話ではないです。

原田委員 穴水高校の存続に関して予算化されているが、国公立への進学促進ということで具体的にはどのようなことをしているのか。進学塾の利用が出来るのか。どんな活用をしているのか。

荒木次長 事業費の中には、学習指導支援で進学率の取組みとして、平成26年度は、学習塾のトライから穴水高校まで来て生徒を指導することと、穴水高校OBが休みの期間中に教えに来てもらうという受験対策講座を行いました。

原田委員 穴水高校にコースが新たに設けられましたね。しかし文章だけを見ると国公立のことしか書いてない。生徒たちのニーズ、また保護者の思いを考えると、国公立を目指している生徒だけに恩恵を被るように、この文面を見たら思うので、今、発言してすぐに改善されるとは思われないが、穴水高校はいろいろなニーズのある学校だと解釈すると、国公立だけではなく、いろいろな生徒たちが穴水高校へ行くと思うことで入学率も上がるのではないかと思うので、町が補助しているのは存続ということがあるが、国公立を目指す生徒だけではなく、いろいろな生徒たちにもしてあげればという意見です。

事務局長 キャリアコースは、80人の定員の内、40人のキャリアコースということで、昨年9月に話が出、現在実施されているのですが、穴水高校はキャリアコースになる以前から、少人数学級として3クラスに分けてやっていて、資格取得とかいう部分にも助成をしています。原田委員がおっしゃるよう生徒たちが穴水高校へ行きたいと思ってもらえるよう、また、キャリアコースが出来たということで、支援する部分でもう少し考えていかなければいけないことも出てくると思います。総会等の中で皆さんと協議させていただければと思います。

原田委員 はい、ありがとうございます。

宮下委員 珠洲の小学校の先生が穴水に住んでいる先生に、穴水高校へ行きたいのだが下宿するところがあるか、ということをお聞かせされたそうです。いろいろあったのですが、以前はあったのですが、現在は無いということでした。遠距離で下宿生を受け入れてくれば、人数も増えるのではないのでしょうか。

事務局長 通学補助を出しているのは、遠距離の生徒たちを少しでも集めたいという思いがあり、昨んか

ら実施していますが、下宿は難しいかもしれませんが、いい案ですね。

原田委員 以前は、部活動の監督が個人的に頼んで在所の中で引き受ける方もいたのですが、そのような斡旋があればよいですね。把握しておけばいいですね。

教育長 そのような要望がたくさんあれば、町として補助とかについて行政として考えなければならぬことがあると思います。

諸橋委員長 そうですね。

教育長 キャリアコースは商業が主ですが、いろいろな資格を取らないと、ただ勉強だけしたのではいけないので、これから上級の資格が穴水高校のキャリアコースから出てくると思います。

諸橋委員長 生徒の成績ももう少し上げてほしいと思います。

教育長 以前はベネッセをお願いしていたのですが。

荒木次長 今年度はトライで、平成 27 年度は河合塾のサテライトを企画しています。

原田委員 国公立を希望する生徒がたくさんいけば伸びていくのですが、進学には保護者の経済力も必要で、どれだけ生徒に力があっても進学できない場合もあります。穴水高校の必要な選択肢をいくつか設けた方がいいのではないのでしょうか。

教育長 そのためのキャリアコースだと思います。

(途中省略)

原田委員 知・徳・体を育てるといっても考えないといけないのではないのでしょうか。

諸橋委員長 支援の中には、部活動の支援も含んでいるのですよね。

荒木次長 ソフトテニスとブラスバンドです。

諸橋委員長 では、報告第 4 号についてお願いします。

朝倉係長 詳細説明

事務局長 協議第 5 号について説明

朝倉係長 詳細説明

不二井委員 書類には、漢字とかカタガナを使用しないのですか。

(途中省略)

事務局長 協議第6号について説明

諸橋委員長 小中学校の入学式について、不二井委員、原田委員は向洋小学校。布施教育長、宮下委員、私諸橋は穴水小学校でいいですか。中学校は、5名全員ということをお願いします。

(途中省略)

荒木次長 ふるさと教育事業実績について説明

諸橋委員長 ふるさと教育事業の時間数は。

原田委員 毎年同じことをするのではなく、学校の意見や反省もふまえて、主幹教諭が検討する会有一些あるということですね。

荒木次長 はい、そうです。

岡本次長 郷土料理を初め、食育にも絡めた事業も行ないました。

宮下委員 「かぶら寿し」の名称ですが、金沢市では本当のかぶら寿しはシールを貼られて「かぶら寿し」という商標になっているそうです。かぶら寿し風の漬物は、漬物なのか、「かぶら寿し」の名前を使用してもよいのでしょうか。

岡本局長 そこまではわかりませんが、商標登録されたのですか。

宮下委員 金沢の青首蕪を使用し、鰯を挟んだのが「かぶら寿し」であって、そのシールを貼って市場に出るらしいです。民間の郷土料理の「かぶら寿し」も「かぶら寿し」でいいのでしょうか。

岡本局長 「曾良のかぶら寿し」とシールを貼って市場に出て販売していますので、それを差し止めるのは難しいと思いますが。

諸橋委員長 フローチャートにして書けば、とても分かりやすいと思います。

(途中省略)

諸橋委員長 以上、これで定例教育委員会を終わりたいと思います。

以 上

穴水町教育委員会会議規則（昭和 31 年教育委員会規則第 2 号）第 15 条第 2 項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教育委員（教育長）
